

第3回（仮称）屋代 SIC を活用した魅力あるまちづくり方針等策定委員会 議事録

1 日時：令和7年12月18日（木）午前10時00分から11時30分

2 場所：千曲市役所 301 大会議室 AB

3 出席者

委員：樋口委員（会長）、小林委員、柳澤委員、小沼委員、杉木委員、林委員、島田委員

オブザーバー：長野県千曲建設事務所 足立所長

事務局：公民共創推進室、都市計画課、(株)オリエンタルコンサルタンツ

4 議事

(1) 開会

(2) あいさつ

会長より挨拶があった。

(3) 委員紹介 ※柳澤委員、小沼委員の紹介

(4) 会議事項

1) 第3回委員会の意見の取り扱いについて

各委員からの意見の反映の確認は、会長に一任することとした。

2) （仮称）屋代スマートインターチェンジ周辺地区まちづくり方針（素案）について

事務局から「資料1 （仮称）屋代スマートインターチェンジ周辺地区まちづくり方針（素案）」を用いて、説明を行った。

【会長】最初に、第1章～第3章までについて、意見・質問を受けたい。（仮称）屋代スマートインターチェンジ周辺地区及び千曲市全体の位置づけなどは、前回の意見が反映されたものになっている。さらに改善できることなどについて意見をいただきたい。

【委員】前回、第2章～第3章に市民の声が掲載されており、たいへん勉強になった。また、歴史文化施設に対する市民の捉え方が今回の資料にまとめられており、この点も勉強になった。事務局からの説明では、第4章～第5章でも歴史文化施設についての新たな記載があり、ありがたいと感じている。

【委員】第1回、第2回の委員会に参加して意見を述べており、今回は、特に意見はない。

【委員】よく情報収集されており、まとまっていると思う。

【委員】前回までの資料を見ており、このままでよい。

【オブザーバー】特に指摘はない。

【委員】最終的な確認はできてないが、よくまとまっていると思う。マーケティングもしっかり活用し、整理されている。

【委員】農業委員会の視点から意見を述べる。開発が進んでいくことで、人が土から遠くなっていくと感じる。土と触れ合うことを重要視してほしい。

【会長】承知した。この開発に伴い、土と触れ合う、自然と触れ合う視点を大切にしてほしいとの意見である。また、本日欠席の委員から、意見が届いていると伺っている。それをもとに議論したい。

【事務局】欠席された委員からの意見を紹介する。28 ページ、観光地利用者数の基礎データ資料について、あんずの里、武水別神社などの記載がある中で、同じ千曲市内の戸倉上山田温泉の観光者数の記載がないことに違和感があり、追加していただきたい。

31 ページ、市民意識、施策に対する評価について、グラフ内の横棒の「市政への満足度」の指数は、満足度平均であるマイナス 0.85 に基準線があるが、満足度 0.00 の基準に合わせた方が、今回のヒアリング結果にもつながる。その点を文章へ盛り込んでいただくのが良い。

32 ページ、子育て環境に対する評価について、グラフの「どちらかといえばそう思う」が増えていることは文章で記載されているが、「そう思う」の数値が微増であっても増えていることを指摘した方が良い。二極化が進んでいることを文章で記載いただきたい。

77 ページの表、強みについて、「暮らしやすさ」として、千曲市の地価が安く、移住・転入者が多いとあるが、戸倉上山田の生活に根ざした温泉も「暮らしやすさ」である。日帰り温泉が7箇所あることは県内最大である。加えて、市内でスーパーマーケット、ドラッグストアが多いことも移住につながる大きな要因である。また、新しく清泉大学が旧更埴市庁舎に建つことも、子育て世帯にとってプラス要因である。こうしたことにも触れてほしい。以上の意見をいただいております。

【会長】委員からご指摘いただいた4点について、事務局としてはどのような対応ができるか。

【事務局】いただいた意見に対応して修正する。

【会長】先ほど委員からは農業に関わる立場からの意見があった。開発の際に自然や土地に触れ合えるような仕組みをきちんと担保してほしいとの意見である。これに対しても対応いただきたい。

【事務局】承知した。

【会長】後半は、第4章～第7章について議論したい。

【委員】108 ページ、経済効果の試算結果は、これが KGI になると捉えている。加えて、大きな目的としては、人口を増やすことも目標であると考えているが、そのことがこの資料のどこかに記載されていれば、教えていただきたい。

112 ページ、推進体制について、これは、市が主導で推進していくのか。どのような合意形成を行っていくのか。その点がわかりづらく疑問として残った。

【事務局】まず、一点目の人口に係る目標が資料に記載されているかどうかについて回答する。個々の施策・取組で人口がどれだけ増えるのかという試算は技術的に難しい。よって、屋代スマートインターチェンジ周辺の開発に伴って、人口がどれくらい増えるかを試算した目標値は記載していない。なお、千曲市としては、市全体の人口目標がある。6 ページに第2期千曲市人口ビジョンの目標値を記載している。人口ビジョンの目標を実現するためには、様々な政策を総合的に実施する必要がある。その中の一つとして、屋代スマートインターチェンジ周辺地区も位置づけられる。このような認識は持っているが、KGI としては、一定の仮定の下で試算が可能な経済的な効果を記載している。

二点目の推進体制については、大きな考え方を示しているものである。ここで言いたいことは、ハード整備を中心とした「まちづくり」で終わるのではなく、「まち育て」の段階に移行することの重要性である。そのために、行政が中心となって各関係機関と様々な情報共有の仕組みづくりをしていくことをイメージ図で示している。何か一つの組織が立ち上がるというよりは、例えば交通の問題であれば、開発が交通に負荷を与えないように、警察や NEXCO、商業事業者などが構成員となって個別の組織を立ち上げることを想定している。観光についても同様の考え方である。いずれにしても、個別具体の部分を示していないことから、わかりづらいという意見はもつともだが、現段階では各施設の整備に関して、詳細な計画が出ていない段階である。まずは「まち育て」の仕組みが必要という方針のみを記載している。

【委員】推進体制については、これからということまで理解した。人口については、確かにスマートインターチェンジ開発による増加分を算出することは難しいと思う。一方で、人ベースであれば、どれだけの雇用を創出できるのかといった目標を立てられないか。

【事務局】雇用という形で、人ベースの指標の示し方があることは指摘のとおりである。計算方法としては、1人が生み出す価値を仮定して計算することが考えられる。会長とも相談しながら、素案に盛り込む方向で検討したい。

【会長】第4章～第7章について、他の委員の意見も伺いたい。

【委員】交通の問題が最優先課題である。森街道は現状でも渋滞している。一重山線の整備について、今回は前回より強調してもらっているが、このような開発は道路ネットワークが伴ってなければならない。渋滞が加速すると商業施設、産業施設の効果が減じて、最終的には街が発展しないという阻害要因になりかねない。交通渋滞がボトルネックにならないようにしてほしい。

【会長】承知した。その点については、より強く記述していただきたい。これについて事務局の考えを伺いたい。

【事務局】指摘の点も踏まえ、表現の仕方を検討する。

【会長】オブザーバーの意見を伺いたい。

【オブザーバー】一重山線は重要な道路である。一重山線の整備を推進するためには、将来の交通量などの定量的な数字が重要である。そういった点について、フォローアップをお願いしたい。また、沿道の緑化について記載があるが、地域を含めて緑を管理する仕組みが必要である。アダプト制度も含めた仕組みづくりを併せて検討してほしい。その点についても記載してほしい。

【事務局】意見を踏まえて修正する。

【会長）】他はいかがか。

【委員】非常によくまとめてあるとの印象をもっている。先ほど別の委員が言われたように、渋滞は当初から気になっている。また、景観については、前回の意見を反映してもらったのでありがたい。さらに、99ページ、図面のゾーンの色合いと、説明の吹き出しの色合いを統一してもらえると読みやすい。

【会長】事務局には、色の調整をお願いしたい。

【事務局】調整する。

【委員】歴史文化に関わる立場から意見を述べる。95 ページ、「強み」に「歴史と自然の魅力を兼ね備えた森將軍塚古墳館、科野の里歴史公園、長野県立歴史館」とある。また、「機会」では高速道路のアクセスの向上、観光客の増加、リピーター化について書かれており、強みと機会の掛け算で重要な役割が位置づけられているのはありがたい。

99 ページ、土地利用の方針でも、公共文化ゾーンは森將軍塚古墳館や県立歴史館に近いところに配置されており、方針においても、学びや体験の面で連携することが明文化されていてありがたい。

県立歴史館としても、開館から 30 年間を経て、歴史的な資産を蓄積してきた強みがある。当然、森將軍塚古墳館にも強みがあり、今回このような整備方針でまとめていただいたことから、公共文化ゾーンとの連携を今後より考えていきたい。第 8 章のまちづくりの推進体制でも歴史をテーマとしたイベントについて記載していただいている。まずは、こうしたところを実現させながら、さらに今後の夢に繋がる連携へと展開していきたい。

さらに、個人的に良いと思ったところがある。103 ページ、緑と景観形成の方針で、森將軍塚古墳館、県立歴史館からスマートインターチェンジにつながる沿道で、埴輪の配置などによる空間演出の検討について書かれているところである。屋代スマートインターチェンジ周辺地区の居住者で、普段は歴史文化に興味を持たない方も、身近なところに歴史文化があれば、興味を引かれて施設に足を運ぶようになって感じた。一方、現状では県立歴史館側からあんずの里アグリパーク、あんずの里物産館へ行くための道路横断を怖く感じることもあり、歩道の整備なども併せて進めていただければ、ここを拠点に回遊していただける環境が整うと感じた。

【会長】歩道、自転車道、横断歩道に配慮していただきたいという指摘は重要である。これらについて、事務局の意見を伺いたい。

【事務局】関係機関と相談しながら、修正をかけていきたい。

【会長】他の委員からも意見を伺いたい。

【委員】先ほど他の委員が言われたことだが、森街道の渋滞を解消して、開発地区にスムーズに行けるようになると良い。道路は十分に整備を行い、人が行ってみたいと思える開発地区となるようにしてほしい。

【会長】本日欠席の委員から、意見が届いていると伺っている。事務局から紹介してほしい。

【事務局】意見を紹介する。93 ページ、屋代スマートインターチェンジ周辺地区の役割の「積極的戦略②」に関して、指摘をいただいている。産業ゾーンの製造業の役割として整理されているが、あんずの青果など農産物の出荷も利便性が高まる。このため、製造業だけでなく、農産物についても記載した方がよいとの指摘をいただいている。

94 ページの「改善戦略」に関して、住宅ゾーンに重きを置いた役割が整理されているが、千曲市では「農ある暮らしもできる」ことも盛り込んだ方が「強み」になるとの指摘があった。

101 ページ、これは事務局の運営に対する指摘にもなってしまうが、前回の委員会で脱炭素にも配慮したまちづくりに繋がることを盛り込んでほしいと発言があったが、本日の資料に記載がなかったため、盛り込んでほしいとの指摘があった。

109 ページ、市内各拠点との連携強化について、上から 2 番目の「あんずの里の観光振興」では、農業の継続につながる取組を盛り込んだ方がよいとの指摘があった。また、上から 3 番目の「中心市街地（屋代駅周辺）の活性化」では、屋代駅前でサテライトオフィスが少しずつ広がっているところも連携強化した方がよいとの指摘をいただいている。

以上、5 点のご指摘があった。

【会長】これに関して、委員の意見を伺いたい。

【委員】開発に対しては期待している。あんずの里アグリパークについてお話すると、いちごとあんずの旬の時期に利用者が来るだけでは経営は厳しい。今は人材の確保も困難な状況で、閑散期に社員が辞めてしまえば、繁忙期が人手不足になる。開発地区に来客があり、また、その数パーセントでも当施設に来てもらえると良い。閑散期の来客が増えることを期待している。社員は賃金も高くない中、頑張ってもらっている。社員の給料を上げられるよう期待している。いちご狩りについても素案に載せていただければ大変ありがたい。

【会長】スマートインターチェンジ周辺で体験農業の場があることはとても魅力的である。新潟も同じような方法で売り出しているが、PRが上手くいっていない。屋代スマートインターチェンジ周辺地区に魅力的なものがたくさんあれば、有利になると感じた。

私からは2点意見がある。一点目として、屋代スマートインターチェンジ周辺地区の整備のスケジュールでは、商業ゾーンと交通拠点ゾーンが先行し、交通拠点ゾーンでは、高速バスのバス停が設置される。全国的に高速バスのターミナルなどを整備することで、まちづくりに結びつけようとする流れがあり、新潟市もバスターミナルを整備している。東京の新宿ターミナルから千曲市まで直結で来てもらえれば、スマートインターチェンジから歩いて数分でいちご狩りができることは強みとなる。現在の高速バスが、1日何本の発着でどの位の利用者がいるのか伺いたい。

【事務局】高速バスの台数は上り下りで各17台、高速バスの利用者は平日が約30人、休日が約40人である。

【会長】1時間に1本以上あれば十分である。飯田市の高速バスは1時間に2本程あり、観光目的の乗客が多く利用している。現在の台数で比較すると、千曲市では今までPRが弱かったか、もしくはアクセスが悪かったのかもしれない。バスターミナルの整備に併せて、PRができると良い。また、バスターミナルからあんずの里もしくは県立歴史館の方へ歩く歩道整備ができると良い。

二点目として、95ページ、前回の意見を受けて、歴史文化に関する役割が追加されているが、役割6を導く強みに至るまでの基礎調査部分に歴史文化の記述が足りない。関連する部分としては、観光資源の分布があるが、これだけでは不十分だと感じる。29ページに余白があり、ここに千曲市の歴史文化について書いても良いのではないかと感じる。ぜひ、記載していただきたい。

【事務局】指摘を踏まえ、記載内容を検討する。

【会長】本日が最後の委員会となる。各委員の意見は事務局で再度検討していただき、その後の修正点は私と事務局で協議した上で、皆様に完成形を示したい。

3) 今後の予定

【会長】それでは、今後の予定について事務局から説明していただきたい。

【事務局】今後のスケジュールについて案内する。本委員会でいただいた意見は、来年1月に整理し、会長に確認していただいた後、2月中頃から、1ヶ月間のパブリックコメントの実施を予定している。パブリックコメントの詳細は、市報やホームページに掲載する。委員の皆様には事前に本方針（案）を自宅に送付させていただく。パブリックコメント実施後、庁舎の内部決裁の手続きを経て、3月末までには正式な方針として、市のホームページで公表する流れとなる。説明は以上である。

(5) 閉会

【事務局】以上で委員会を終了とする。

以上